

どうやってなおすのかわからないものを
壊しつづけるのは
もう
やめてください



*Sevens
La Voix
De Nos Enfants*



自分の子どもを心配する両親こそ
環境問題の一番の希望だと思えます。
人々が将来について
本気で心配するとならば
木々やハチのことはありません。
自分たちの子どもとのことです。

セヴァンの 地球のなおし方

監督：ジャン＝ポール・ジョー（『未来の食卓』）
プロデューサー：ベアトリス・カミュラ・ジョー



出演：セヴァン・スズキ、ハイダグアイの人々、古野隆雄、福井県池田町の人々、バルジャック村の人々、
ポワトゥーシャラントの人々、コルシカ島の人々、オンドィーヌ・エリオット、ニコラ・ウロ、ピエール・ラビ、他
2010年 / フランス / 120分

環境サミットで伝説のスピーチを行った12歳の少女、
セヴァン・スズキの現在の活動と、
日本とフランスで子どもたちの未来を救うために「食」を
守り続ける人々を追ったドキュメンタリー

1992年、リオデジャネイロで行われた環境サミットでのスピーチで、世界中の人の心を動かした少女、セヴァン・スズキ。未来の子どもたちの生活を守るため、自分の発言に責任を持って行動に移すよう地球全体に呼び掛ける12歳のセヴァンの姿からこの映画は始まる。

29歳(撮影時)となり、お腹に新しい命を宿したセヴァン。カナダのハイダグアイ島で自然と共存する生活をしながら、世界中の人々に、今もお訴えかける。危機的状況であることには変わりないが、今なら変化をもたらすことが可能だ、と。

フランスでオーガニック・ブームを
巻き起こした映画『未来の食卓』の、
ジャン＝ポール・ジョー監督による続編！

福岡県で合鴨農法によってオーガニック米を作る古野農場の百姓百作の精神、地域の子どものために161人の農婦が無農薬食材を育てる福井県の池田町、そして『未来の食卓』の題材にもなったフランス、バルジャック村のオーガニック給食と村のその後の様子やワインの産地として有名なコルシカ島が抱える問題などを取材。セヴァンと同じまなざしで地球の未来を見つめる人々の姿を追った。

*Severna
La Voix
De Nos Enfants*



農薬の代わりに合鴨に害虫を食べさせる
「合鴨農法」を実践する古野種雄



南フランス、バルジャック村近くの原子力発電所前で
原発の危険性について話し合う人々



地域で無農薬食材を育てる福井県今立郡池田町の農婦たち



サメの絶滅を防ぐための活動をしている13歳のオンディータ

「母なる自然を守り地球を救わなくては」
気持ちばかりですが、私の考えは違います。
地球は自力で生き残れる。
私たちが望むのは、幸せで健康な生活です。
大切なのは生活の質と健康、
そして子どもなんです。
だから私は自己中心的に、
自分たちをどう救うかを考えていきたい。



セヴァンの地球のなおし方

日時 **3月17日** (土)

① 10:00～ ② 13:30～

場所 アピオあおもり(青森市中央3丁目17-1)

料金 前売券 / 500円 当日券 / 700円

チケットの購入は

青森市ストップ温暖化センター

[青森市地球温暖化防止活動推進センター]

〒030-0801 青森市新町1-13-7 和田ビル3F

TEL 017-721-2480 FAX 017-723-7631

(または) 成田本店しんまち店Pax
サンロード青森 青森市文化会館